資料３－４

第１３回宇宙科学・探査小委員会資料より抜粋

小規模プロジェクト等による人材の育成の強化

政策課題 「宇宙政策委員会 中間とりまとめ」より

X線天文衛星代替機の開発に引き続き取り組みつつ、戦略的中型や公募型小型の選定など、計画されている科学探査のプロジェクトを着実に取り組むとともに、**これらのプロジェクトや多様な小規模プロジェクトを通じて宇宙科学・探査分野の特性を踏まえた人材の育成**を強化する。

宇宙科学・探査小委員会での主な議論

「第6回宇宙科学・探査小委員会（平成28年6月1日開催） 資料２」より抜粋

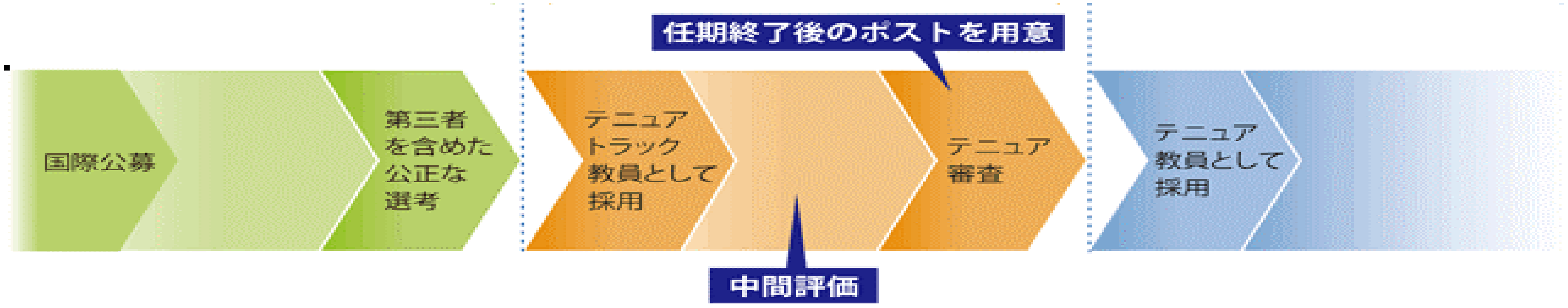
- サイエンスニーズの収集から衛星機器の開発、打上げ、データの解析といった**一連のプロセスを経験し、ノウハウを蓄積していくことが重要**。
- **国際的なプロジェクトへの戦略的な参加や、超小型衛星の活用も含めた実証機会の確保**が必要
- 次の世代へ継承するためには、**機器開発人材等を長期間安定的に雇用が可能となる環境を整える**必要
- 世界最先端の成果を創出するためには、**人材の流動性を確保しつつ、想定されるプロジェクトや技術力の向上等の変化に応じた人材育成**が必要
- 高い専門性・技術力を有した機器開発人材が不可欠。**論文数等によらない独自の評価システムで機器開発人材を的確に評価が重要**。

小規模プロジェクト等による人材の育成の強化（続き）

小規模プロジェクト等の機会を活用した特任助教(テニュアトラック型)(検討中)

- 特任助教として、小規模プロジェクト等を5年程度担当、研究成果とともに技術力、マネジメント能力も評価するテニュア審査により、無期の教員として雇用する制度を検討中。

人材確保のための制度	育成する機会の提供	幅広く公正な評価
・特任助教 5～7年程度プロジェクトをリードして、プロジェクトと研究の両方の成果を上げる。審査の上無期の教員となるので、**機器開発等の人材を安定して雇用が可能**となる。 **・テニュアトラック型** 非常に良い人材がいる近隣分野から、特段のインセンチブにより、**若い段階で人材を宇宙科学に誘導することが可能。**	**・小型・小規模プロジェクト参加** 短期間でプロジェトの**全期間、小規模でプロジェクト全体を見通した一連のプロセスを経験**ができ技術力・マネジメント能力などの**ノウハウの蓄積が可能**。 **・国際協力プロジェクト** 今後求められる**国際的な経験を通し**た、技術力、マネジメント能力を身に着けることができる。	**・テニュア審査** 公正なテニュア審査により、無期の教員として雇用する。プロジェクトを通して、**論文だけによらない**、プロジェクトマネジメントや**機器開発の技術力も評価も加えることが可能**となる。



➡ Destiny+、JUICEから適用する